

施策 3 2 2

地域の資源を活かした、
特色ある商業空間を創出する

令和 8 年度 施策評価シート

基本目標	Ⅲ 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる
政 策	320 こだわりをもった魅力ある商業・サービス業の集積を進める
施 策	322 地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する
施策の目標	活気にあふれた商業空間で区民や観光客が快適に楽しんでいる一方で、買物弱者へのきめ細かな対応等、商店街や個店が地域とのつながりをより深めています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「誰かを誘って食事や買い物をしたい場所が区内にある」区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	75.0%
実績	69.8%	—	—	—	75.8%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	80.0%
実績	—	—	—	—	79.4%

指標名	区政全般に対する区民の満足度の点数				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	65点
実績	57.4点	—	—	—	63.5点
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	70点
実績	—	—	—	—	67.5点

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
区内商業空間の魅力が向上し、区内で食事や買い物をする区民が増加する。区周辺地域の商業空間以上の魅力向上が必要である。	R5	121, 616
	R6	347, 404
	R7	372, 327

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	各事務事業が相対的に順調に機能しているため。

4 今後の施策の運営方針

	施策の戦略的方向性
○	（１） 優先的に資源投入を図る
●	（２） 現状維持とする
○	（３） 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	（４） 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
目標とする商店街支援及び個店支援を継続し、商店街を基盤とした商業空間づくりを継続させていく必要がある。	
今後の具体的な方針	
区商店街連合会と連携し、商店街支援及び加盟促進、個店支援の充実を図り、商業空間の活性化につなげていくよう引き続き、努めていく。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会補	産業振興課	284,945	13,907	298,852	現状維持
2	商店街チャレンジ戦略支援事業費	産業振興課	29,004	10,430	39,434	現状維持
3	地域力を育む商業空間づくり推進事業費	産業振興課	20,416	8,692	29,108	現状維持
4	明るい商店街づくり事業費	産業振興課	3,194	1,738	4,932	現状維持

令和8年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	322 地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する					
事 業 名	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会補助事業費					
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435			
目 的	商業振興に必要な補助金を交付することにより、事業の運営を円滑ならしめ、商店街の充実と発展を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。					
対 象 者	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会					
根拠法令 関連計画	墨田区商店街連合会補助金交付要綱・墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	【墨田区商店街連合会】 (1) 商店街の振興事業のうち、広域に行われるイベント事業 (2) 商店街の振興事業のうち、商店街のPR及び活動支援を行う事業 (3) 従業員の福利厚生事業及び経営者・従業員の教育支援事業 【墨田区商店街振興組合連合会】 (1) 講習・講演等の実施に関する事業 (2) 情報の収集及び提供に関する事業 (3) 組織安定化及び強化に関する事業					
経 過	開始年度	昭和48年度			終了予定	
	昭和48年度	墨田区商店街連合会補助金交付要綱の制定				
	平成21年度	プレミアム付商品券発行、補助要綱改正（実施細目の追加）				
	平成24年度	プレミアム付商品券発行、ソラのねマルシェ開始				
	平成27年度	プレミアム付商品券発行、補助要綱改正（景品購入費の見直し）				
	平成30年度	墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱の制定				
	平成31年度	プレミアム付商品券発行				
	令和2年度	キッチンカー事業開始、キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第1弾実施				
	令和3年度	墨田区商店街連合会補助金交付要綱の改定（雑役務費（アルバイト賃金）の規定）				
		墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱の改定（補助金に係る消費税仕入控除税額の取扱い）				
		キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第2弾実施				
	令和4年度	キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第3弾・第4弾実施				
	令和5年度	キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第5弾実施、すみだまるごとバルウォーク事業実施				
	令和6年度	すみだプレミアム付デジタル商品券事業実施、すみだまるごとバルウォーク事業第2弾実施				
	令和7年度	すみだプレミアム付デジタル商品券事業実施				
議会質問 の 状 況	【令和6年2月議会】キャッシュレスポイント還元事業における区民優遇について 【令和6年予特】すみだプレミアム付デジタル商品券事業・すみだまるごとバルウォーク事業について 【令和6年決特】すみだまるごとバルウォーク事業について 【令和7年2月議会】すみだプレミアム付デジタル商品券事業の効果や課題について 【令和7年6月議会】すみだプレミアム付デジタル商品券事業の今後の展開 【令和7年決特】すみだプレミアム付デジタル商品券事業と個店支援について 【令和7年予特】すみだプレミアム付デジタル商品券事業と個店支援について					
そ の 他 特記事項	【年間スケジュール】 6～7月 補助金交付 10月 商業まつり 11月 ソラのねマルシェ					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		33,255	25,095	74,095	268,140	330,140	334,640
A. 決算額（令和8年度は見込み）		27,432	23,182	50,610	254,854	284,945	334,640
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	3,651	2,499	2,499	2,499	3,108	3,250
	その他	0	0	0	0	0	1
一般財源		23,781	20,683	48,111	252,355	281,837	331,389
執行率（％）		82.49％	92.38％	68.3％	95.05％	86.31％	100％
B. 人コスト		4,398	4,907	5,107	14,646	13,907	
総事業費（A+B）		31,830	28,089	55,717	269,500	298,852	
予算書P（令和8年度）		P192-3(4), (5)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	254,854	負担金補助及び交付金	284,945	負担金補助及び交付金	334,640
概 要		概 要		概 要	
・ プレミアム付デジタル商品券事業費 231,991		・ プレミアム付デジタル商品券事業費 256,417		・ プレミアム付デジタル商品券事業費 300,000	
・ 事務事業費 16,363		・ 事務事業費 20,367		・ 事務事業費 26,140	
・ イベント補助金 6,500		・ イベント補助金 8,161		・ イベント補助金 8,500	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	商業まつり参加店数				単位	店
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		400	令和7年度	目標	400	400	400	400
				実績	300	300	300	300
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	400	400	400	400	400	400
		実績	300	300	300	300	300	300
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		商業まつりは区商連が開催する商店会をアピールする大きなイベントで、地域の消費者にも定着したイベントとなっているため						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	加盟商店会数				単位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		41	令和7年度	目標	41	41	41	41
				実績	41	41	42	42
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	41	41	41	41	41	41
		実績	41	40	40	37	36	33
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		一定の商店会加盟数を保つことで、安定した商業空間の創出が期待できるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	全商店街・加盟店を対象にした「商業まつり」や「ソラのねマルシェ」の開催を通じて、区内商店街・加盟店の活性化に一定の効果があったと評価している。また、「すみだプレミアム付デジタル商品券」事業では、完売とはならなかったものの、約12億7,500万円が区商連加盟店で消費され、区内商業の振興に寄与させることができた。

課題・問題点
区内商店街数は、5年前に40あったが、現在33となり、減少傾向にある。このような中、区商連事業を通じて、各商店街・加盟店の活性化を図り、商店街組織の維持・発展を図る必要がある。また、「すみだプレミアム付デジタル商品券」事業は、第一に商店街振興を図ることを目的としていることから、完売させることで、区内消費を喚起させ、区内商業の振興につなげていく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	墨田区商店街連合会補助金・墨田区商店街振興組合連合会補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435
根拠法令	墨田区商店街連合会補助金交付要綱・墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱		
補助概要	墨田区商店街連合会及び墨田区商店街振興組合連合会に対し、事業に要する費用を補助する。		
目的	商業振興に必要な補助金を交付することにより、事業の運営を円滑ならしめ、商店街の充実と発展を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。		
対象	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会		
基準	区独自基準		
補助条件	墨田区商店街連合会・墨田区商店街振興組合連合会が行う事業		
経過	開始年度	昭和48年度	終了予定
	昭和48年度	墨田区商店街連合会補助金交付要綱の制定	
	平成21年度	プレミアム付商品券発行、補助要綱改正（実施細目の追加）	
	平成24年度	プレミアム付商品券発行、ソラのねマルシェ開始	
	平成27年度	プレミアム付商品券発行、補助要綱改正（景品購入費の見直し）	
	平成30年度	墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱の制定	
	平成31年度	プレミアム付商品券発行	
	令和2年度	キッチンカー事業開始、キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第1弾実施	
	令和3年度	墨田区商店街連合会補助金交付要綱の改定（雑役務費（アルバイト賃金）の規定） 墨田区商店街振興組合連合会補助金交付要綱の改定（補助金に係る消費税仕入控除税額の取扱い） キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第2弾実施	
	令和4年度	キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第3弾・第4弾実施	
	令和5年度	キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第5弾実施、すみだまるごとバルウォーク事業実施	
	令和6年度	すみだプレミアム付デジタル商品券事業実施、すみだまるごとバルウォーク事業第2弾実施	
	令和7年度	すみだプレミアム付デジタル商品券事業実施	
議会質問の状況	【令和6年予特】すみだプレミアム付デジタル商品券事業・すみだまるごとバルウォーク事業について 【令和6年決特】すみだまるごとバルウォーク事業について 【令和7年2月議会】すみだプレミアム付デジタル商品券事業の効果や課題について 【令和7年6月議会】すみだプレミアム付デジタル商品券事業の今後の展開 【令和7年決特】すみだプレミアム付デジタル商品券事業と個店支援について 【令和7年予特】すみだプレミアム付デジタル商品券事業と個店支援について		
その他特記事項	【年間スケジュール】 6～7月 補助金交付 10月 商業まつり 11月 ソラのねマルシェ		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
予算現額（令和 8 年度は当初予算）		33,255	25,095	74,095	268,140	330,140	334,640
A. 決算額（令和 8 年度は見込み）		27,432	23,182	50,610	254,854	284,945	334,640
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	3,651	2,499	2,499	2,499	3,108	3,250
	その他	0	0	0	0	0	1
一般財源		23,781	20,683	48,111	252,355	281,837	331,389
執行率（％）		82.49 %	92.38 %	68.3 %	95.05 %	86.31 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	商業まつり参加店数				単 位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		400	令和 7 年度	目標	400	400	400	400
				実績	300	300	300	300
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	400	400	400	400	400	400
		実績	300	300	300	300	300	300
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		商業まつりは区商連が開催する商店会をアピールする大きなイベントで、地域の消費者にも定着したイベントとなっているため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	加盟商店会数				単 位	数
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		41	令和 7 年度	目標	41	41	41	41
				実績	41	41	42	42
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	41	41	41	41	41	41
		実績	41	40	40	37	36	33
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		一定の商店会加盟数を保つことで、安定した商業空間の創出が期待できるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	全商店街・加盟店を対象にした「商業まつり」や「ソラのねマルシェ」の開催を通じて、区内商店街・加盟店の活性化に一定の効果があつたと評価している。また、「すみだプレミアム付デジタル商品券」事業では、完売とはならなかったものの、約12億7,500万円が区商連加盟店で消費され、区内商業の振興に寄与させることができた。

課題・問題点
区内商店街数は、5年前に40あったが、現在33となり、減少傾向にある。このような中、区商連事業を通じて、各商店街・加盟店の活性化を図り、商店街組織の維持・発展を図る必要がある。また、「すみだプレミアム付デジタル商品券」事業は、第一に商店街振興を図ることを目的としていることから、完売させることで、区内消費を喚起させ、区内商業の振興につなげていく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	322 地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する				
事 業 名	商店街チャレンジ戦略支援事業費				
主管課	産業振興課			電話番号（内線）	5435
目 的	商店会等が行うイベント事業、環境整備事業等に対して必要な補助金を交付することにより、広く区内商店街の振興を図り、もって中小商業の経営の安定及び発展並びに地域経済の活性化に寄与する。				
対 象 者	墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会及びそれに加盟する商店会、商店街及び商店街の連合会と複数の地域団体（町会・自治会、NPO法人）で作る実行委員会（地域連携型商店街事業）				
根拠法令 関連計画	墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業補助金交付要綱、墨田区地域連携型商店街事業補助金交付要綱、墨田区さらなる商店街事業補助金交付要綱				
実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤 4
事業内容	【イベント事業】：補助率3分の2又は補助限度額300万円のいずれか低い額 組織活力向上支援事業：補助率12分の11又は補助限度額300万円のいずれか低い額 こども応援・婚活応援事業、全国連携事業：補助率9分の8又は補助限度額80万円のいずれか低い額 【環境整備事業】 補助率3分の2又は補助限度額6,000万円のいずれか低い額 【商店街担い手育成支援事業】 女性活躍推進事業：補助率12分の11又は補助限度額100万円のいずれか低い額 商店街担い手確保支援事業：補助率12分の11又は補助限度額300万円のいずれか低い額 【地域連携型商店街事業】 新規事業：補助率5分の4又は補助限度額400万円のいずれか低い額 継続事業：補助率3分の2又は補助限度額333万3,000円のいずれか低い額 【さらなる商店街イベント応援事業】 補助率6分の5又は補助限度額50万円のいずれか低い額				
経 過	開始年度	平成31年度			終了予定
	平成31年度	商店街チャレンジ戦略支援事業開始 環境整備事業に「多言語対応事業」を追加			
	令和3年度	環境整備事業に「キャッシュレス決済対応事業」を追加 地域力向上事業開始			
	令和4年度	さらなる商店街イベント応援事業開始			
	令和5年度	イベント事業に「組織活力向上支援事業」を追加 地域連携型商店街事業に、継続して実施するイベントについての補助枠を追加			
	令和6年度	イベント事業及び環境整備事業に「女性活躍推進事業」を追加			
	令和7年度	イベント事業に「こども応援事業」、「全国連携事業」を追加			
	令和8年度	商店街担い手育成支援事業開始、イベント事業に「婚活応援事業」を追加			
議会質問 の 状 況	【平成30年9月議会】商店街のLED街路灯の補修について 【平成30年予特】商店街が実施するイベントについて 【令和7年決特】商店街チャレンジ戦略支援事業の各商店街への周知について				
そ の 他 特記事項	【年間スケジュール】4月：交付申請、8月：交付決定、以降実績報告 ※イベント事業は「新・元気を出せ!商店街事業」、環境整備（ハード）事業は「商店街育成補助事業」でそれぞれ補助を実施していたが、平成31年度に東京都の事業名に合わせて「墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業」とし、2つを統合した。				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		25,125	28,763	39,000	37,700	34,588	53,422
A. 決算額（令和8年度は見込み）		22,337	22,751	24,455	34,307	29,004	53,422
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	9,981	10,142	15,951	16,609	14,246	33,524
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		12,356	12,609	8,504	17,698	14,758	19,898
執行率（％）		88.9％	79.1％	62.71％	91％	83.86％	100％
B. 人コスト		8,796	8,997	9,363	10,985	10,430	
総事業費（A+B）		31,133	31,748	33,818	45,292	39,434	
予算書P（令和8年度）		P192-3(2)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	34,307	負担金補助及び交付金	29,004	負担金補助及び交付金	53,422
概 要		概 要		概 要	
商店街チャレンジ戦略支援事業等		商店街チャレンジ戦略支援事業等		商店街チャレンジ戦略支援事業等	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	イベント事業補助金交付団体				単位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		24	令和7年度	目標	—	—	—	24
				実績	—	—	—	23
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24	24	24	24	24	24
		実績	17	20	17	18	18	17
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		補助金交付団体数により、地域活性化に向けた取組を行っている団体数が確認できる。団体数の増加が望ましいが、社会情勢を鑑み現状維持を目標とした。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	イベント事業実施件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		43	令和7年度	目標	—	—	—	43
				実績	—	—	—	40
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	43	43	43	43	43	43
		実績	24	35	35	39	36	39
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		実施されたイベント数により、地域社会・区民への波及効果が検証できる。限られた資源の中で、イベントが継続されるように支援することを目標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和7年度は、交付商店街数としては、1つ減ったものの、イベント実施件数は、3件増加し、各商店会のイベント継続に一定の効果があったものと評価している。今後も商店街イベントへの支援を継続し、商店街振興・地域経済の活性化に寄与していく。

課題・問題点
ここ数年、イベント補助金を活用する商店街が固定化されつつあり、申請団体数は横ばい状態が続いている。要因としては、商店街役員の高齢化や担い手不足などがあり、新たなイベント実施が困難になっている商店街もある。今後、申請団体数を増やし、商店街振興・地域経済の活性化につなげていくため、商店街の組織力強化を図る支援を検討していく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 2

補助金名	商店街チャレンジ戦略支援事業補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435
根拠法令	墨田区商店街チャレンジ戦略支援事業補助金交付要綱等		
補助概要	商店街等が行うイベント事業、環境整備事業等に対し補助金を交付する。		
目的	商店会等が行うイベント事業等に対して必要な補助金を交付することにより、広く区内商店街の振興を図り、もって中小商業の経営の安定及び発展並びに地域経済の活性化に寄与する。		
対象	墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会及びそれに加盟する商店会、商店街及び商店街の連合会と複数の地域団体（町会・自治会、NPO法人）で作る実行委員会（地域連携型商店街事業）		
基準	都基準		
補助条件	【イベント事業】東京都商店街チャレンジ戦略支援事業において補助対象事業と認められたもの 【環境整備事業】東京都商店街チャレンジ戦略支援事業において補助対象事業と認められたもの 【商店街担い手育成支援事業】東京都商店街チャレンジ戦略支援事業において補助対象事業と認められたもの 【地域連携型商店街事業】東京都地域連携型商店街事業において補助対象事業と認められたもの 【さらなる商店街イベント応援事業】墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会に加盟する商店会のうち、当該年度の東京都チャレンジ戦略支援事業において、2件のイベント事業の交付決定を受けている商店会が自ら企画し、実施するイベント事業		
経過	開始年度	平成31年度	終了予定
	【平成31年度】商店街チャレンジ戦略支援事業開始 【平成31年度】環境整備事業に「多言語対応事業」を追加 【令和3年度】環境整備事業に「キャッシュレス決済対応事業」を追加 地域力向上事業開始 【令和4年度】さらなる商店街イベント応援事業開始 【令和5年度】イベント事業に「組織活力向上支援事業」を追加 地域連携型商店街事業に、継続して実施するイベントについての補助枠を追加 【令和6年度】イベント事業及び環境整備事業に「女性活躍推進事業」を追加 【令和7年度】イベント事業に「こども応援事業」、「全国連携事業」を追加 【令和8年度】商店街担い手育成支援事業開始、イベント事業に「婚活応援事業」を追加		
議会質問の状況	【平成30年9月議会】商店街のLED街路灯の補修について 【平成30年予特】商店街が実施するイベントについて 【令和7年決特】商店街チャレンジ戦略支援事業の各商店街への周知について		
その他特記事項	【年間スケジュール】 4月 交付申請 8月 交付決定 以後 実績報告 ※さらなる商店街イベント応援事業に限り、都の交付決定以降に申請受付開始		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		25,125	28,763	39,000	37,700	34,588	53,422
A. 決算額（令和8年度は見込み）		22,337	22,751	24,455	34,307	29,004	53,422
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	9,981	10,142	15,951	16,609	14,246	33,524
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		12,356	12,609	8,504	17,698	14,758	19,898
執行率（％）		88.9％	79.1％	62.71％	91％	83.86％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	イベント事業補助金交付団体				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		24	令和 7 年度	目標	—	—	—	24
				実績	—	—	—	23
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24	24	24	24	24	24
		実績	17	20	17	18	18	17
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		補助金交付団体数により、地域活性化に向けた取組みを行っている団体数が確認できる。団体数の増加が望ましいが、社会情勢を鑑み現状維持を目標とした。						
		指 標	イベント事業実施件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		43	令和 7 年度	目標	—	—	—	43
				実績	—	—	—	40
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	43	43	43	43	43	43
		実績	24	35	35	39	36	39
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		実施されたイベント数により、地域社会・区民への波及効果が検証できる。限られた資源の中で、イベントが継続されるように支援することを目標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和7年度は、交付商店街数としては、1つ減ったものの、イベント実施件数は、3件増加し、各商店会のイベント継続に一定の効果があったものと評価している。今後も商店街イベントへの支援を継続し、商店街振興・地域経済の活性化に寄与していく。

課題・問題点
ここ数年、イベント補助金を活用する商店街が固定化されつつあり、申請団体数は横ばい状態が続いている。要因としては、商店街役員の高齢化や担い手不足などがあり、新たなイベント実施が困難になっている商店街もある。今後、申請団体数を増やし、商店街振興・地域経済の活性化につなげていくため、商店街の組織力強化を図る支援を検討していく必要がある。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	322 地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する					
事 業 名	地域力を育む商業空間づくり推進事業費					
主管課	産業振興課				電話番号（内線）	5435
目 的	商店街振興を図るため、商店会を対象とした商店街巡回相談業務及び個店を対象とした商業コーディネーター業務などを通して、事業者の多様な課題・ニーズを細かく捉え、柔軟に対応することで魅力的な店舗が集積した特色ある商業空間づくりを進める。					
対 象 者	区内商店会、個店					
根拠法令 関連計画	産業と観光の将来構想、商店魅力アップ支援事業実施要綱、新たな商店会組織創出事業補助金交付要綱、個店グループイベント応援事業補助金交付要綱、安心安全な商店街づくり事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4・委託先：（有）モアナ企画他	
事業内容	事業者の多様な課題・ニーズを細かく捉え、柔軟に対応することで特色ある商業空間づくりを推進する。 （1）商業コーディネーター業務委託事業：区内個店の商店街への加入促進及び課題解決 （2）商店街巡回相談業務委託事業：区内商店会の潜在的な課題の抽出及び課題解決の考察・提案 （3）商業ニーズ調査委託業務：商圈調査や住民ニーズ等、課題に対する商業調査 （4）特色ある商業空間創出事業：補助金に依存しない収益事業等をコーディネート・実施 （5）商店魅力アップ支援事業：区内商店を対象に、魅力アップに向けた支援を行い、魅力的な商店を育成 （6）新たな商店会組織創出事業：設立から間もない商店会のイベント事業、環境整備事業に対する支援 （7）個店グループイベント応援事業：個店グループが実施する小規模なイベントに対する支援 （8）安心安全な商店街づくり事業：商店会が管理するAEDの設置に要した購入費、レンタル経費等を補助					
経 過	開始年度	平成29年度			終了予定	
	【平成28年度】地域力を育む商業空間づくり振興プラン策定 【平成29年度】地域力を育む商業空間づくり推進事業開始 【令和4年度】産業と観光の将来構想策定（商業振興プランを統合）					
議会質問 の 状 況	【平成30年決特】新元気をさせ商店街補助事業に係る商業コーディネーターの役割について 【令和4年予特】商業活性化支援事業における商業コーディネーターの活動実績について					
そ の 他 特記事項	定期的に商業担当者連絡会を開催し、商業コーディネーターや商店街巡回相談員らと情報共有を図っている。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		14,000	23,550	20,950	21,750	23,300	20,250
A. 決算額（令和8年度は見込み）		11,444	19,375	18,985	18,450	20,416	20,250
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	4,999	4,999	4,999	4,999	4,999	5,000
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		6,445	14,376	13,986	13,451	15,417	15,250
執行率（％）		81.74％	82.27％	90.62％	84.83％	87.62％	100％
B. 人コスト		5,278	8,179	8,512	9,154	8,692	
総事業費（A+B）		16,722	27,554	27,497	27,604	29,108	
予算書P（令和8年度）		P191-3(1)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	12,299	委託料	12,409	負担金補助及び交付金	10,700
負担金補助及び交付金	6,151	負担金補助及び交付金	8,007	委託料	9,550
概 要		概 要		概 要	
・巡回相談委託等 ・個店向け支援等		・巡回相談委託等 ・個店向け支援等		・巡回相談委託等 ・個店向け支援等	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	商店街巡回相談数				単 位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		200	令和7年度	目標	—	200	200	200
				実績	—	206	204	205
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	200	200	200	200	200	200
		実績	200	200	201	201	185	185
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区内商店街を巡回して商店会関係者らの相談を受け、各商店街の歴史や地域性を踏まえて詳しく分析することにより、商店街の潜在的な課題の抽出及び課題解決への考察・提案を行うため						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	商店魅力アップ支援事業の支援店舗数				単 位	店
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		15	令和7年度	目標	—	15	15	15
				実績	—	18	17	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15	15	15	15	15	15
		実績	0	0	21	17	18	19
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		効果的な個店支援を継続することで、魅力的な個店が集積し、消費者が何度も訪れたいと思うにぎわいのある商業空間を創出できるため ※令和2,3年度は新型コロナの影響により中止						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	商店街巡回相談業務及び商業コーディネーター業務による商店街支援、個店の加盟促進を図り、商店街を基盤とした商業空間づくりを継続させていく必要がある。また、毎年、目標を上回る支援を行っている商店魅力アップ支援事業においても支援を継続し、商店街への加入促進を図り、商店街振興につなげていく。

課題・問題点
特色ある商業空間づくりには、商店街振興が不可欠ことから、本事業を通じて、減少傾向にある区内商店街の維持・発展に努めていく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 3

補助金名	商店魅力アップ支援事業補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435
根拠法令	商店魅力アップ支援事業実施要綱		
補助概要	区内の商店を対象に、経営プランの作成支援及び経営プランに沿った改善事業に要する費用の一部を補助する。		
目 的	意欲ある区内の商店を対象に、魅力アップに向けた支援を行うことにより、魅力的なお店を育て、その集積を通じて消費者が何度も訪れたいと思うにぎわいのある商業空間の創出を目指す。		
対 象	区内で引き続き 1 年以上営業している商店		
基 準	区独自基準		
補助条件	次に掲げるものは対象外とする。 （１）前年度の都道府県民税又は市区町村民税の滞納があるもの （２）チェーン店又はフランチャイズ店 （３）風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第 2 条に規定する営業又はこれに類する風俗営業等を行っている者 （４）墨田区暴力団排除条例（平成24年墨田区条例第37号）第 2 条第 1 号に規定する団体又は同条第 2 号及び第 3 号に規定する者 （５）区が実施する商店街補助事業の補助金の交付を受けている、又は受けることが決まっている者 （６）過去に本事業の補助金交付を受けたことがある者		
経 過	開始年度	平成 2 9 年度	終了予定
	【平成27年度】魅力ある個店づくり創出事業開始 【平成28年度】対象エリア拡大、事業終了 【平成29年度】商店魅力アップ支援事業開始 【令和 2 ～ 3 年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止		
議会質問の状況	【平成30年 9 月議会】商店魅力アップ支援事業の補助対象について 【令和 5 年決特】商店魅力アップ支援事業の活動指標について		
その他特記事項	【年間スケジュール】 4 月 募集の周知 5 月 募集、経営プラン作成支援（すみだビジネスサポートセンターと協力） 7 月 経営プラン実施支援の募集 8 月 交付決定 以後 実績報告、アフターフォロー		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
予算現額（令和 8 年度は当初予算）		10,000	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
A. 決算額（令和 8 年度は見込み）		0	8,276	5,735	6,050	7,543	7,500
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	8,276	5,735	6,050	7,543	7,500
執行率（％）		－％	110.35％	76.47％	80.67％	100.57％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	支援店舗の商店会加盟数				単 位	店
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15	令和 7 年度	目標	—	15	15	15
				実績	—	13	13	4
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15	15	15	15	15	15
		実績	0	0	12	11	9	11
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		補助率は商店会加盟店舗2/3、非加盟店舗1/2とし、商店会への加入割合が高まることで、にぎわいのある商業空間の創出につなげることができるため ※令和 2、3 年度は新型コロナにより中止						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	支援店舗数				単 位	店
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15	令和 7 年度	目標	—	15	15	15
				実績	—	18	17	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15	15	15	15	15	15
		実績	0	0	21	17	18	19
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		効果的な個店支援を継続することで、魅力的な個店が集積し、消費者が何度も訪れたいと思うにぎわいのある商業空間を創出できるため ※令和 2、3 年度は新型コロナにより中止						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	目標を上回る支援を実施し、魅力的な個店を育成し、特色ある商業空間づくりに寄与しているものと評価している。また、本事業を通じた商店会加盟店舗数は目標に届かなかったことから、引き続き、商業コーディネーターと連携し、加盟促進に努めていくこととする。

課題・問題点
本事業を通じて、単に個店の支援で終わらせず、魅力ある個店の商店街加盟を促進させ、特色ある商業空間づくりを進めていく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 3

補助金名	個店グループイベント応援事業補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435
根拠法令	個店グループイベント応援事業補助金交付要綱		
補助概要	個店グループ（3店舗以上の区内商店で組織された任意団体）が実施するイベント事業に対する支援を行う。		
目的	区内複数商店が連携して行うイベント事業を支援し、区内商業の振興を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。		
対象	個店グループ（3店舗以上の区内商店で組織された任意団体）		
基準	区独自基準		
補助条件	次に掲げる要件を全て満たす個店グループを対象とする。 （1）近距離にある3店舗以上の区内商店で構成されていること。 （2）過半数の商店が、区内の商店会に加盟していないこと（墨田区商店街連合会の賛助会員を除く。）。 （3）全ての店舗が、過去に本事業の補助を受けていないこと。		
経過	開始年度	令和3年度	終了予定 令和7年度
	【令和3年度】個店グループイベント応援事業開始		
議会質問の状況	なし		
その他特記事項	個店グループが主催して行うイベント事業の対象経費を補助する。（補助率10/10、千円未満切捨て） ＜補助上限額＞ グループが3店舗：150,000円 グループが4店舗：200,000円 グループが5店舗以上：300,000円		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		3,000	1,500	1,500	1,500	1,500	0
A. 決算額（令和8年度は見込み）		444	549	539	0	236	0
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		444	549	539	0	236	0
執行率（％）		14.8％	36.6％	35.93％	－％	15.73％	－％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	支援した個店グループの商店数				単 位	店
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	20	20	20	20	20
		実績	—	8	17	11	0	5
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		個店グループイベントに参画した商店数により、地域への波及効果を測ることができるため						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	支援した個店グループの数				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	5	5	5	5	5
		実績	—	2	4	2	0	1
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		イベントを開催した個店グループの数により、事業効果を検証できるため ※ 1 グループ＝3～5 店舗以上						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	1申請に留まり、支援できた商店数も目標を下回る5店舗であったが、参加商店の商店街加盟につなげることができた。今後は、区商連と連携し、商店街を巻き込み、参加店を増やしていけるような事業内容を検討する必要がある。

課題・問題点
本事業における支援した商店数及びグループ数は目標に届いておらず、申請のなかった年度もある。単に個店支援、個店グループ支援に留まらず、イベント開催を通じて、商店街への加盟促進、新たな商店街組織の創出、次代を担う商業人の発掘につながるような取組としていく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 3

補助金名	安心安全な商店街づくり事業補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435
根拠法令	安心安全な商店街づくり補助金交付要綱		
補助概要	商店会が管理するAEDの設置に要した購入費、リース経費、レンタル経費等を補助する。		
目 的	安心安全な商店街づくりという観点から、商店会が管理するAEDの設置を支援することで、商店街の安全性の確保及びイメージアップを図る。		
対 象	墨田区商店街振興組合連合会又は墨田区商店街連合会及びそれに加盟する商店会		
基 準	区独自基準		
補助条件	補助の対象となるAEDは各団体 1 台までとし、商店会等のエリア内に設置したものとする。		
経 過	開始年度	令和 5 年度	終了予定
	【令和 5 年度】安心安全な商店街づくり事業開始		
議会質問 の 状 況	なし		
そ の 他 特記事項	補助対象：AEDの設置に要した購入費、リース経費、レンタル経費等（補助率10/10以内又は補助限度額10万円のいずれか低い額）		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
予算現額（令和 8 年度は当初予算）		0	0	121	100	100	200
A. 決算額（令和 8 年度は見込み）		0	0	121	100	100	200
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	121	100	100	200
執行率（％）		－ ％	－ ％	100 ％	100 ％	100 ％	100 ％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	新規にAEDを設置した商店会数				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和5年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	3	3	3
		実績	—	—	—	1	0	0
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		新たにAEDを設置した商店会の数が増えることにより、商店街の安全性が確保され、イメージアップにつながるため						
		指 標	AED設置商店会数				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		9	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	3	6	9
		実績	—	—	—	2	2	2
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		AEDを設置する商店会の数が増えることにより、商店街の安全性が確保され、イメージアップにつながるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	安全安心な商店街づくりの観点から、引き続き、実施していく。また、申請を希望する商店街もあることから、ニーズを見極めながら、新たな支援につなげていく。

課題・問題点
申請件数が伸びていないことから、商店街巡回相談員とも連携して周知に努め、安心安全な商店街づくりを進めていく。

令和8年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	322 地域の資源を活かした、特色ある商業空間を創出する					
事 業 名	明るい商店街づくり事業費					
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435			
目 的	商店街が管理する装飾街灯等に要した電気料金を予算の範囲内で補助することにより、商店街の活性化、安全の確保、顧客への利便向上及び商店街のイメージを高めることを目的とする。					
対 象 者	墨田区商店街連合会に加盟する商店会					
根拠法令 関連計画	明るい商店街づくり事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤 4	
事業内容	明るい商店街づくり事業補助金交付要綱に基づき、商店街が管理する装飾街灯等に要した電気料金の4/5を助成して商店会の経費負担を軽減し、商店街の明るさを維持するための一助となることで、商店街の活性化、安全確保及びイメージ向上、顧客の利便性に資する。					
経 過	開始年度	平成5年度			終了予定	
	【平成5年度】事業開始 【平成27年度】明るい商店街づくり事業補助金交付要綱を一部改正（補助率を1/2から3/4へアップ） 【令和4年度】同要綱を一部改正（交付申請及び補助金交付を年1回から年2回に分割） 同要綱を一部改正（補助率を3/4から4/5へアップ）					
議会質問 の 状 況	【平成30年9月議会】商店街のLED街灯の補修について 【令和4年決特】補助率について					
そ の 他 特記事項	【年間スケジュール】 9月 実績報告（前期分） 10月 補助金交付（前期分） 3月 実績報告（後期分） 4月 補助金交付（後期分）					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算現額（令和8年度は当初予算）		4,000	3,727	3,800	3,600	3,300	3,300
A. 決算額（令和8年度は見込み）		3,501	3,727	2,881	3,177	3,194	3,300
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,501	3,727	2,881	3,177	3,194	3,300
執行率（％）		87.53％	100％	75.82％	88.25％	96.79％	100％
B. 人コスト		1,759	1,636	1,702	1,831	1,738	
総事業費（A+B）		5,260	5,363	4,583	5,008	4,932	
予算書P（令和8年度）		P192-3(3)		執行実績報告書P（令和7年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和6年度（決算）		令和7年度（決算）		令和8年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	3,382	負担金補助及び交付金	3,194	負担金補助及び交付金	3,300
概 要		概 要		概 要	
電気料金補助金		電気料金補助金		電気料金補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	助成した商店会				単位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		13	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	20	19
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	19	18	19	18	15	13
		実績	18	19	18	15	13	13
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区が明るい商店街づくりにどの程度貢献しているかを測る基準となるため。装飾街灯を有する商店会が減少したため、目標値も修正する。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	商店街が保有する装飾灯の本数				単位	装飾街灯
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		344	令和7年度	目標	586	586	590	590
				実績	586	590	590	554
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	554	524	540	473	374	344
		実績	524	540	473	374	344	344
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		商店街の装飾街灯を保有することにより生じる負担を軽減し、維持できていることがわかるため。装飾街灯を有する商店会が減少し、それに伴い目標値も現本数に修正する。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	商業空間の中心的役割を担う商店街が明るい状態を維持するためにも継続していく必要がある。

課題・問題点
物価高騰、燃料価格の高騰が続く中、厳しい状況下にある商店街の装飾街路灯に要する電気料金補助は極めて有効である。今後、電気料金の上昇状況を注視し、状況によっては、補助率を検討していく必要がある。

令和 8 年度 補助金評価シート

No. 4

補助金名	明るい商店街づくり事業補助金		
主管課	産業振興課	電話番号（内線）	5435
根拠法令	明るい商店街づくり事業補助金交付要綱		
補助概要	商店街が管理する装飾街路灯等に要した電気料金の一部を補助する。		
目 的	商店街が管理する装飾街灯等に要した電気料金の一部を予算の範囲内で補助することにより、商店街の活性化、安全性の確保顧客への利便向上及び商店街のイメージを高めることを目的とする。		
対 象	補助の対象は、商店街で管理している装飾街灯、アーケード、アーチ及びこれに類するものに要した電気料金とする。		
基 準	区独自基準		
補助条件	商店街で管理している装飾街灯、アーケード、アーチ及びこれに類するものに要した電気料金であること。		
経 過	開始年度	平成 5 年度	終了予定
	【平成 5 年度】事業開始 【平成27年度】明るい商店街づくり事業補助金交付要綱を一部改正（補助率を 1 / 2 から 3 / 4 へアップ） 【令和 4 年度】同要綱を一部改正（交付申請及び補助金交付を年1回から年2回に分割） 同要綱を一部改正（補助率を 3 / 4 から 4 / 5 へアップ）		
議会質問の状況	【平成30年 9 月議会】商店街のLED街灯の補修について 【令和 4 年決特】補助率について		
その他の特記事項	【年間スケジュール】 9 月 実績報告（前期分） 10 月 補助金交付（前期分） 3 月 実績報告（後期分） 4 月 補助金交付（後期分）		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
予算現額（令和 8 年度は当初予算）		4, 000	3, 727	3, 800	3, 600	3, 300	3, 300
A. 決算額（令和 8 年度は見込み）		3, 501	3, 727	2, 881	3, 177	3, 194	3, 300
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		3, 501	3, 727	2, 881	3, 177	3, 194	3, 300
執行率（％）		87. 53 %	100 %	75. 82 %	88. 25 %	96. 79 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	助成した商店会				単 位	商店会
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		13	令和 7 年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	20	19
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	19	18	19	18	15	13
		実績	18	19	18	15	13	13
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区が明るい商店街づくりにどの程度貢献しているかを測る基準となるため。令和 5 年度に装飾街灯を有する商店会が減少したため、目標値も修正する。						
		指 標	商店街が保有する装飾街灯の本数				単 位	装飾街灯
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		344	令和 7 年度	目標	586	586	590	590
				実績	586	590	590	554
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	554	554	540	473	374	344
		実績	554	540	473	374	344	344
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		商店街の装飾街灯を保有することにより生じる負担を軽減し、維持できていることがわかるため。装飾街灯を有する商店会が減少し、それに伴い目標値も現本数に修正する。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	商業空間の中心的役割を担う商店街が明るい状態を維持するためにも継続していく必要がある。

課題・問題点
物価高騰、燃料価格の高騰が続く中、厳しい状況下にある商店街の装飾街路灯に要する電気料金補助は極めて有効である。今後、電気料金の上昇状況を注視し、状況によっては、補助率を検討していく必要がある。